



# 学校便り 王滝



王滝村立  
王滝小中学校

めざす学校  
みんなが笑顔で登校・笑顔で帰宅

No.11

平成27年2月25日

## 下出弘輔君 全中スキー大会参加

2月3日から青森県大鰐町を中心に行われた全国中学校スキー大会男子大回転に中3の下出弘輔君が参加してきました。大回転コースはねじれた急斜面で、コースが荒れ溝ができた状態の中、コースアウトする選手が続出しました。しかし、そのようなコンディションの中でも、臆することなく2本とも積極的な滑りをすることができました。結果は194名中、48位。全国大会でこの成績は見事です。県中スキー大会で自信をつけ、技術面ばかりでなく精神面でも大きく成長した弘輔でした。後輩たちに良い刺激になり、村の方々にも元気を与えられたかと思えます。応援して下さいました皆さんありがとうございました。



積極果敢の弘輔君のすべり



心も姿勢も引き締まっています

選挙管理委員会のメンバーも、はきはきした説明、きびきびとした動きで支えてくれて、気持ちのよい会となりました。開票の結果、会長 胡桃澤寛竜さん、5年副会長 林思来さん、4年副会長 下出鉄平さんが当選しました。

## 小学校 青葉会選挙

3日(火)の6校時に、立会演説会と投票が行われました。5年生から会長候補2名、副会長候補1名、4年生から副会長候補3名が立候補して意見を述べました。学年に関係なく、候補者と推薦責任者ともに、全員の目と声に力があり、選挙に向けて真剣に準備をしてきた自信と気迫を感じました。ぐいぐいと迫ってくる演説に、初めて児童会に参加した2年生を含め、聞き手も自然と背筋が伸びて、集中して聞きっていました。

## 小学校 青葉総会

10日(火)の6校時に、2年生から6年生が参加して、第2回青葉総会があり、今年度の児童会の活動報告や反省、来年度の役員紹介が行われました。林会長のもと、「あたりまえのことを、あたりまえにやる」児童会を目指して活動してきた一年間。各委員会からの報告も「係活動の取り組みが良くなった」、「読書旬間が終わっても読書しりとりを続けてくれた」などと、充実した内容でした。

校長先生からは、「あたりまえのことをあたりまえにやるのは、簡単そうで一番難しいことです。でも6年生の皆さんが一生懸命やってくれたから、発表のあとの質疑応答も、みんなが一生懸命手を上げてくれました。実際にやってみることで、その中から学んで成長する姿、工夫する姿がすばらしかった。」とお話がありました。



質問！一斉に手が上がります

# 授業参観日ありがとうございました！

13日（金）の授業参観日には多くの保護者や地域の皆様にご来校いただきましてありがとうございました。中学校では3時間目に情報教育講演会を行い、木曽広域情報センターの尾崎 暎さんからスマホやインターネットの危険について話をさせていただきました。子どもたちの周りでは、スマホやインターネットに関わるトラブルがたくさん起きています。そのようなトラブルに巻き込まれることなく、そのような機器とうまくつきあっているほしいですね。

4時間目は初めての試みとして、全校学習発表会を行いました。今年度、子どもたちが自分たちの住む王滝村について調べたり活動したりしたことや御嶽山の噴火に関わって学んだこと、そして、校長先生が中心となって進めてきた「青い鳥」の発表などを行いました。子どもたちの一つ一つの発表を温かな目で見て下さったり、大きな拍手をして下さったりと、子どもたちにとって大きな励みとなりました。



会場が一つになった「青い鳥」の歌声

## 全校学習発表会 学校長の話

3つお話しします。

1つめ 今、私は「子どもは、村の宝物である」という瀬戸村長様の言葉を実感しています。今、自分ができることに集中する、当たり前のことを当たり前にする子どもの姿がここにあるからです。子どもたちの言葉や一途な姿、心に響く歌声が、折れかけた心に一歩踏み出す勇気を与えてくれた事実があるからです。会場の皆様は、ふるさとを知りふるさを愛する子どもの発表をご覧になっていかがでしょうか？

2つめ 「感謝」です。噴火後捜索にあたった方、それを支援する方、悲しみに寄り添う方。それぞれのお立場で、思いで、やり方で心を尽くされたことへのご慰労と感謝申し上げます。では、学校ができることは何か？

3つめは「希望」です。私にとって学校ができることは何か問われる毎日でした。子どもたちの姿をみているうちにこんな願いをもつようになりました。

学校は元気や希望の発信地でありたいと。そんな願いを込めて創られたのが、本日の発表会であり「青い鳥」の歌づくりです。

「青い鳥」の歌づくりで、低学年のみなさんは、小学生と中学生が一緒にいることそしておんぶにだっこしてもらい笑顔の輪が広がる喜びを言葉に込めています。高学年のみなさんは、「けんかもするけど」「なかよし」をキーワードに、自分たちで学校を創るんだという願いを歌詞に込めています。中学生のみなさんは、村の良さを再発見し、未来をみつめ、王滝村に自信と誇りをもって生きる決意を歌に込めています。人はいつまでも、ふるさを身に付けているものです。

王滝村が元気になることはもちろん、被災され悲しみを背負っている方への気持ちを伝えたいと願う女の子、何があっても王滝に生きていくんだと強く心に誓う男の子の思いを歌詞にしてみました。

最後は、「身近な幸せ」をテーマにした青い鳥の原曲です。会場の皆様と一緒に歌いたいと思います。

皆様の未来に希望を、そして幸多かれと祈ります。本日は、ありがとうございました。



# 中学校 保育実習

中学校の家庭科では、今年度も5日（木）に2年生の6名が保育実習に行ってきました。インフルエンザの流行などもあり、2回予定されていた実習が1回になってしまいとても残念でした。

今年度は劇をしようということになり、この日のために衣装を作ったり、小道具を作ったり、劇の練習や途中に入る歌やダンスの練習など、一生懸命準備をしてきました。

全体遊びでは貨物列車、しっぽとりをしました。グループ遊びでは、3つのグループに分かれ遊びました。

渉さん亮也さんが汗びっしょりになりながら体を使って遊んだドッジボール、実穂さんこと美さんが自分達で描いたオリジナルのぬり絵、まど華さん優佳さんが登場人物になりきって読んだ紙芝居、どの子ども園児の目線に合わせて接することができとても楽しそうでした。

劇は1回目に発表することができなかった「うら島太郎」と、今回予定していた「三匹のヤギとトロール」の2本を発表しました。園児に喜んでもらえるようにと様々な工夫をした2年生オリジナルの2作品。園児も先生方も大笑いで大成功でした。

終わったあとは園児たちが「また明日も来てね」と名残惜しそうにお別れをしました。2年生の子どもたちもまた行きたいなと口々に話しながら帰ってきました。はじめはどんな風に接したらいいのか分からないと不安や緊張でいっぱいでしたが、園児や保育園の先生方が暖かく笑顔で迎えて下さり、とても楽しい実習になりました。



「だるまさんがころんだ！」

# 中学校 百人一首大会

10日（火）新生徒会の企画による百人一首大会が行われました。3～4人ずつのグループをつくり、札を拾いました。読み手である沼田先生が上の句を読んだだけで、「はい」と札をとれる生徒もたくさんいました。結果は、最後の百人一首大会になった3年生が勝利しました。午前中には前期選抜学力検査があり、緊張していた3年生も、この時は受検のことも忘れて、楽しい時間を過ごすことができました。



優勝した3年生チーム！

## 3月の主な行事

- 3日（火）中・生徒総会
- 6日（金）小・6年生を送る会
- 11日（水）中・後期選抜学力検査
- 13日（金）中・3年生を送る会
- 18日（水）3学期終業式
- 19日（木）卒業証書授与式
- 20日（金）後期選抜合格発表
- 21日（土）春分の日  
春休み（4/3まで）
- 30日（月）新年度準備のための登校日

## がんばる王滝っ子！

- 今を生きる子どもの絵（美術展）
- |      |           |
|------|-----------|
| 中央入選 | 中1 溝口 佳歩  |
|      | 「成長した私」   |
| 地方入選 | 中2 巾 こと美  |
|      | 「私の散歩コース」 |

作成

小学校教頭 三澤ゆり  
中学校教頭 内山一好

